

点検・評価で 学ぶ意欲を高める家庭学習に!

家庭学習の取組や内容を教師から認められることで、児童生徒は励まされ、喜びを感じます。また、具体的にアドバイスをしてもらうことでより効果的な学び方を身に付けていきます。そして、そのことが、学ぶ意欲や主体的に学び続ける力を育みます。

短い時間の中で、取組の内容を点検・評価し、児童生徒の成長や努力を伝えるには工夫が必要です。

家庭学習の点検・評価のひと工夫

その1 ノート2冊

「下校までに点検・評価できない…」という悩みを解消するのが、ノートを2冊持たせるアイデアです。点検・評価に余裕が生まれます。提出する曜日を指定して、日々の点検冊数を減らすことで、丁寧な見取りにつなげている学校もあります。

その2 チームで点検

担任の負担軽減のアイデアです。小学校では級外職員、中学校では教科担当や副任なども含めてチームでノートを点検します。担任以外の教員から、評価されることで、児童生徒のやる気も喚起できます。多面的な児童生徒理解にもつながります。

その3 授業で点検・子ども同士の相互評価

家庭学習で取り組んだ「今日の授業の振り返り」を次時の導入で活用したり、予習で感じた疑問点を出し合う活動を取り入れたりするなど、授業中に点検する方法もあります。

さらに、取り組んできた内容を子ども同士で相互評価することが、家庭学習を進める意欲を向上させることにもつながります。

学校の実態や児童生徒の実態に合った点検・評価の工夫を、校内や中学校区で共有しましょう。



その4 軽重つけた評価

内容によって軽重をつけ、スタンプやシールなども活用しながら、温かい励ましやアドバイスを伝える方法もあります。



スタンプと言葉によるメッセージでの評価例

取組や内容を認める評価は…

- 記号によるメッセージ
…まるつけ(花まる,三重まる), シール,スタンプ
- 記号+言葉メッセージ
…スタンプやシールの横に短いメッセージ
(「がんばったね」,「Good!」)

効果的な学び方など具体的なアドバイスを伝える評価は…

- 言葉によるメッセージ
…「～がいいね。」「～すると、もっとよくなるよ。」

「全校体制」と「予習・復習」で
家庭学習が変わる!!

新潟市の 家庭学習

新潟市が目指す家庭学習

- ◇主体的に学び続ける力を育てる家庭学習
- ◇授業とつながる家庭学習
- ◇点検・評価で学ぶ意欲を高める家庭学習



新潟市の 家庭学習

「家庭でまったく学習しない」という児童生徒を少なくしていくには…



家庭学習

宿題

自主的な学習

<家庭学習の内容>

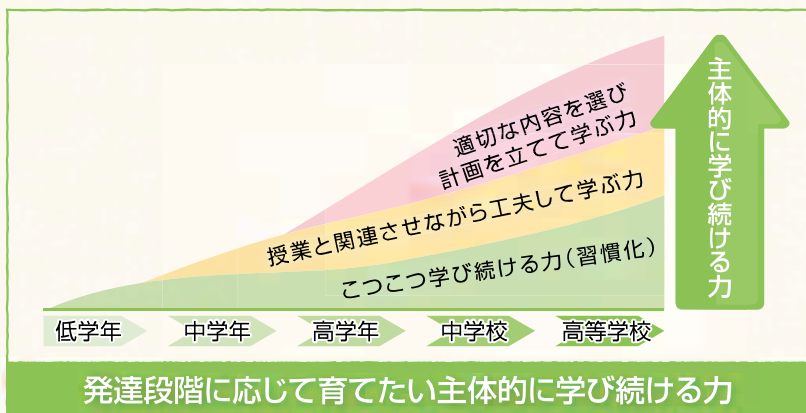
- 授業の予習(教科書を読む,事前の調べ学習など)
- 授業の復習(適用問題,授業の振り返りなど)
- 既習事項の定着を図る学習(ドリル学習など)
- 興味・関心を高める学習,発展的な学習
- 読書

家庭学習時間の目安

小学校	「10分×学年」以上
中学校	1年生 80分以上 2年生 100分以上 3年生 120分以上
高等学校	「(学年+1)時間」以上

主体的に学び続ける力を育てる家庭学習

発達段階に応じて重点的に育てたい「主体的に学び続ける力」(こつこつ学び続ける力,授業と関連させながら工夫して学ぶ力,適切な内容を選び計画を立てて学ぶ力)を明らかにし,学校体制で取り組むことで,効果が上がります。



全校体制で取り組むと…

- 学年が変わっても,教師が変わっても,児童生徒が戸惑うことなく学び続けることができます。
- 単年度では成し得ない,主体的に学び続ける力を段階的に育むことができます。
- 上学年の取組を目標として意識することが,児童生徒の意欲向上につながります。

各学校で、「何に重点をおいて継続させていくのか」を明確にして取り組むことが大切です。

授業とつながる家庭学習

家庭学習で「予習」や「復習」に取り組むことで,学びが連続し,学習内容が確実に定着します。



- ### 予習すると…
- 分かっていることと分からないことを自覚して授業に臨めます。
 - 考えをもって話し合いに参加するため,学びが深まります。
 - 事前に資料や教科書を読んでいるため,ゆとりをもって学ぶことができます。

授業ノートが,授業と家庭学習をつなぐ重要なアイテム!

- ### 復習すると…
- 授業で学んだ知識・技能を確実に身に付けることができます。
 - 思考の過程を振り返ることで,学び方を身に付けることができます。
 - 学んだことよさが実感でき,次の学習への期待が高まります。

学ぶ意欲を高める

点検・評価



「やってよかった」「力が付いた」と自覚できる家庭学習を繰り返すことが学ぶ意欲を育て,主体的に学び続ける力の育成につながります。そのためには,教師の確実な見取りと適切な評価が重要です。

点検・評価のねらいは…

- 教師の点検やコメントにより家庭学習への意欲の向上を図り,よりよい学び方を身に付けさせる。
- 児童生徒の理解度を把握し,授業改革に生かす。

「予習」「復習」で、授業とつながる家庭学習に!

予習

読む・調べる・書く

- ◎教科書を読む、調べる、ノートに書く
- ・次の時間に学習するページを読む。
- ・分からない言葉(単語)の意味を調べる。
- ・読んで分からなかったところをノートに書く。

「授業が
楽しみだな」

事前に読む・考えをもつ

- ◎資料を読み、考えをもつ
 - ・資料集や事前に配付された資料を読む。
 - ・資料を読んで考えたことをノートに書く。
- ※理科や社会などで、複数の資料を基に考えさせたり、話し合わせたりしたい場合に有効です。

授業

授業ノート



「どうやるのかな?」
課題意識の醸成

授業ノートが、
家庭学習で使える
ノートになっている
ことが大切ね。



家庭学習につなげる授業ノート

- ◎「学習課題」「まとめ」を書く。
(教科によっては「問題」も書く)
- ◎教科書のページを書いておくと復習するときによい。
- ◎プリントはノートに貼る。
- ◎自分の考え → 振り返りで考えの変容を実感させるためには、はじめの自分の考えや自分の解法が記録されているとよい。(誤答であっても消さない。)
- ◎参考となる友達の考えやアイデア
→ 全ての考えを書き写させる必要はない。自分で選ばせたり、授業者が書き写す考えを指定したりしてもよい。

復習

授業を振り返る

- ◎思考の過程を振り返る
- ・学習の振り返りを書く。
(学びの価値付け)
- ・考えの変容をミニ作文で書く。



予習や復習を
すると授業がよく
分かるね!

- ◎考えの変容のきっかけを振り返る
- ・参考になった友達の考えを書く。
どんなところがよいのかを書く。

アイデアを生かして解決する

- ◎授業の学びを生かして問題を解決する
- ・練習問題をやる。
- ・解決に使ったアイデアを文や図でかく。
- ◎友達のアイデアを使って解決する
- ・友達の考え(一番分かりやすかった考え)を使って、練習問題をやる。
※友達の考えへの興味・関心が高まります。

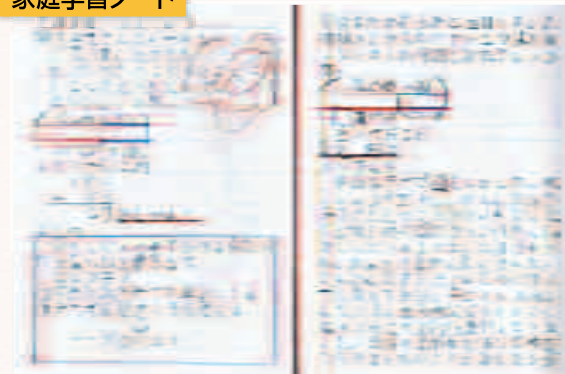


「もっと知りたい!!」
主体的な学びへ

授業ノートをもう一度書く

- ◎授業ノートを書き写す
- ・授業ノートを書き写し、余白や空いているところに、気が付いたことやよく分からなかったところ、調べてみたいことなどを書く。

家庭学習ノート



※家庭学習で書き込んだ部分
が分かるように、色ペンを使うと効果的です。書き込みは、補充指導にも活用できます。

学びを発展させる

- ◎授業で興味をもったことを調べる
- ・さらに調べてみたいことを辞書や資料集で調べて、まとめる。
- ・生活の中で学習したことが使われているところを探して書く。
※授業で紹介することでさらに学びが深まります。



全校体制で、主体的に学び続ける力を育てる家庭学習に!

どの児童生徒にも、主体的に学び続ける力を育てていくためには、全校体制で、また、中学校区で連携して継続的に指導することが効果的です。家庭学習の内容や量、宿題(課題)と自主的な学習のバランスを工夫し、段階的に、主体的に学び続ける力(こつこつ学ぶ力、授業と関連させながら工夫して学ぶ力、適切な内容を選び計画を立てて学ぶ力)を育てましょう。

家庭学習も「選択」と「集中」。次の視点を参考にして学校の取組を考えましょう!

全校体制での指導・支援を進めるための視点

効果的な指導・支援をするために

家庭学習の進め方を共有する

- 学校で、実態に応じた目標時間を設定する。
- 家庭学習の内容や、学年の発達段階に応じた宿題と自主的な学習のバランスを検討し、共通理解を図る。

復習や自主的な学習について、学校全体の取組としたことと、やり方を提示したことが意欲の向上につながりました。継続する手立てが今後の課題です。(小学校教諭)

教科間で連携する

- 教室に家庭学習連絡用の黒板を設置して、バランスのよい宿題(課題)になるようにする。
- ノートの使い方や宿題(課題)の提出方法等を統一し、取り組みやすくする。

家庭学習連絡板によって、生徒は一目で今日の課題を把握することができます。また、生徒にとって適切な量の課題をだすことができます。(中学校教諭)

習慣化を図るための手立てを共有する

- 学校で家庭学習のプランを立てる時間や家庭学習に取り組み始める時間を設定する。
- 計画表を活用して、計画を立てて進められるように支援する。(内容別選択肢、難易度別例示など)

2年前から終学活で今日の家庭学習の計画を立てる時間を設けています。学年で課題の内容を揃えたり、生徒会の活動と連携させたりすることで課題の提出率が上がりました。(中学校教諭)

よい取組を共有する

- 掲示スペースを設け、よい取組を全校、全職員で共有する。
- 家庭学習の進め方や時間の使い方などを、仲間や後輩に伝える場を設定する。

友達の勉強方法を参考にしている子もいます。よい取組を紹介したことが、児童の意欲の向上につながったようです。(小学校教諭)

さらに指導・支援を継続するために

中学校区で連携する

- 家庭学習の進め方を共有する。
- 学び方、ノートの使い方など、情報を共有する。
- 中学校区で9年間、連続した取組を行う。(点検方法をそろえる、ノートをそろえるなど)

児童生徒が自学で何をすべきかが見えるための手立てをどう講じていくかを小中合同で考えました。9年間のつながりを意識して指導・支援していきたいです。(中学校教諭)

保護者と連携する

- 保護者会で家庭学習についてファシリテーションをし、学校と家庭の連携意識を高める。(学校でできること、家庭でできることを話し合う。)
- 家庭学習ノートや取組について学校・学年だよりで情報発信する。

保護者と家庭学習について話し合うことで課題を共有できました。今後、さらに多くの保護者を巻き込んでいきたいです。(中学校教諭)

まずは、児童生徒の実態やこれまでの取組を基に、学校として、何をそろえるのか、どのように取り組むのか検討するところから始めましょう。段階的に、継続的に、学ぶ力を育てることは、生涯にわたって学び続ける力を付けることにつながります。